



# アグアスだより



令和6年度7月号

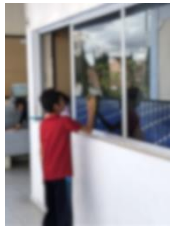
令和6年7月1日(月)発行

## 豊かな心を育む清掃活動

3月・4月の全体保護者会で、校長より皆様に「日本型教育」についてお伝えいたしました。

今回は、本校で行っている「日本型教育」の一つ、清掃活動について紹介いたします。清掃活動は、昨年度から週に一度、昼休みの15分間を活用して行っています。

この15分間、一人一人が頭と体を使って、本当に一生懸命働いています。教室や廊下をほうきで掃く、机や棚を水拭きする、白板をピカピカに磨き上げる、というのは、児童生徒の中ではもう当たり前ようです。



それらを手早く終えた後、周りを見回し「もっとできることはないかな」と探し始めるのです。するとこんな人が現れます。窓の棧にたまった砂埃を小さなほうきで掃きとる人、そのあとを雑巾で拭き上げる人、長い廊下の端から端まで雑巾がけをする人、バケツの水を替えに行く人、ごみを集めているところにちり取りを持って手伝いに行く人。

一人一人が、すべきことやできることを考え、行動に移しています。掃除は楽しい、きれいになると嬉しい、という思いをもっているからだと思います。

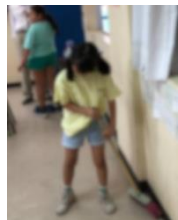
また、環境を整えてくださる方々に感謝の気持ちをもって接する姿、教室やものを大事に扱う姿、きれいな状態を維持しようとする姿が見られるようになってきました。一番変わったと感じるのは、トイレの使い方です。以前はトイレットペーパーがちぎれて落ちていることが多かったのですが、最近は見られなくなりました。ハンドペーパーも相当の枚数を使っていたのですが、一枚を上手に使って手を拭き上げています。体験・経験によって新たな気づき



が生まれたことによる行動変容だと思っています。

これからもアグアスカリエンテス日本人学校では、子どもたちが自ら考えて行動する体験・経験を大切に、学力と体力の向上はもちろん、豊かな心を育む教育を実践してまいります。

(教頭 大内紀子)



## 欠席時のオンライン授業について

児童生徒本人の体調不良による欠席の場合は、治療に専念していただくため、オンライン授業は受けられません。ただし、下記に該当する場合はオンライン授業を受けることができます。

- ・児童生徒本人がインフルエンザや新型コロナウイルス等に感染した場合で、出席停止の期間中に体調が回復し、オンライン授業を希望した場合。
- ・児童生徒の同居者がインフルエンザ、新型コロナウイルス等に感染し、自宅待機となった場合。

なお、授業は双方向ではなく、原則として聴講のみとなります。

不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

## 7月の行事予定

7月 1日(月)	学級懇談会 全校5時間授業(～5日)
2日(火)	音楽集会・個別面談(～4日) 第2回進路希望調査配付(中2・中3)
4日(木)	七夕集会
5日(金)	大掃除
6日(土)	夏休み(～29日)
7日(日)	英検①二次
8・9・29日	補充学習
30日(火)	全校朝会 第2回進路希望調査〆切
31日(水)	前期委員会⑤



5月27日(月)に体力テストを実施しました。種目は「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」の8つです。今回は次の二つの視点から考察しました。

①全国平均(学年男女別)と比較し、全国平均以上の記録が特に多い種目は何か。

②全国平均に達した児童生徒が特に少ない種目は何か。

## 新体力テスト

① について

### <令和6年度の記録>

全校児童生徒の結果を表にしました。

種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
人数	16人	<b>33人</b>	20人	<b>20人</b>	23人	21人	19人	<b>27人</b>
割合	23%	<b>49%</b>	29%	<b>29%</b>	34%	31%	28%	<b>40%</b>

### <昨年度の記録>

種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
人数	8人	46人	16人	30人	24人	25人	19人	19人
割合	11%	62%	22%	41%	32%	32%	26%	26%

・全国平均を超えた人数が多かったのは、今年度も上体起こしでした。全校児童生徒数が67人(6月18日現在)に対して、33人(49パーセント)の人が全国平均を超えています。

・昨年度と比較すると、ボール投げで全国平均を超えた人が増えています。

② について

### <令和6年度の記録>

種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
人数	<b>16人</b>	33人	20人	20人	23人	21人	19人	27人
割合	<b>23%</b>	49%	29%	29%	34%	31%	28%	40%

### <昨年度の記録>

種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
人数	<b>8人</b>	46人	16人	30人	24人	25人	19人	19人
割合	<b>11%</b>	62%	22%	41%	32%	32%	26%	26%

・昨年度と変わらず、握力が全国平均を超えた児童生徒が最も少ない結果となりました。

・昨年度は長座体前屈で全国平均を超えた人が少なかったのですが、今年度は全国平均を超えた人が増えています。

①②の結果から今後の取り組みについて

・昨年度も握力が全国平均を下回る子が多かったため、今後は重点的に鍛えていきたいと思ひます。握力を鍛えることで、手の細やかな動きが向上します。球技ではボールをコントロールするため、格闘技では相手を制御するために強い握力が必要です。握力は、スポーツのパフォーマンスを向上させることができる大事な力です。朝運動に体幹トレーニングや筋力トレーニングなどを取り入れて、握力の記録の向上を図りたいと思ひます。

・長座体前屈は、昨年度も課題だったため、朝運動で重点的にストレッチや柔軟を行ってきました。今年度は記録が向上しているので、今後も引き続き様々なストレッチを取り入れていきます。(体育主任 村上 彩香)